

千葉県の最低賃金
10月1日より時間額

895円 (27円UP)

ちば労連

ホームページ <http://chibarouren.jp/> メール chibarouren@axel.ocn.ne.jp

第 322 号 URL 版 2018 年 9 月 30 日

発行 千葉県労働組合連合会

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センター

電話 043(225)5576 FAX 043 (221) 0138

発行人 本原康雄 定価 20 円

【1 面】

働きがいのある社会の実現 千葉労連第30回定期大会

9月2日、千葉労連は第30回定期大会を千葉県教育会館で開催。代議員、常任幹事、来賓、オブザーバーを含め151名が参加しました。『8時間働いて普通に暮らせる社会の実現』や『安倍政権の暴走を許さず、憲法を生かした運動を進め、7万千葉労連を建設する』など、たたかう運動方針を採決しました。また2018年度の新役員も選出しました。

大会の議長団には、自治労連・細田文夫、東葛労連・岡田勝弘代議員を選出。本原康雄議長のあいさつ(要旨別掲)の後、来賓の全労連議長・小田川義和さん、千葉県原水協事務局長・紙谷敏弘さん、中央労働金庫千葉県本部の日高英彦常務理事、日本共産党千葉県委員会副委員長の浅野ふみ子さんから激励と連帯のあいさつを受けました。また、全国の仲間から38通のメッセージが寄せられました。

議案は、山崎秀弘事務局長が2018年度運動方針案を、矢澤純事務局次長が2017年度会計決算報告、2018年度財政方針・予算案を提案しました。また、3つの新規結成組合と千葉県争議団を紹介し、会場全体で激励しました。

25名の代議員から積極的な発言(要旨別掲)をうけ、山崎秀弘事務局長が総括答弁。いずれの発言も千葉労連運動方針議案を、より豊かに補強するものであり、反対の発言はありませんでした。

「8時間働いて普通に暮らせる社会を実現させる。安倍政権の暴走を止める、とりわけ安倍9条改憲を阻止する。立憲主義、民主主義・平和主義を再構築する。これらの諸要求を実現させるために、市民と野党の共闘を大きく発展させ、政権交代をめざす。労働法制の大改悪を許さず、憲法を運動に生かし、真の働き方改革をめざす」。あらゆる機会を通じて組織拡大に挑戦し、7万千葉労連建設をめざす。組合員の諸要求実現に向けて総決起しようと結びました。

採決では、全議案が承認・可決。また役員選挙では、立候補した全員が信任され、新たな役員として選出されました。

最後に本原康雄議長の団結ガンバローを三唱で大会を閉会しました。



参加者全員で意思統一の団結ガンバロー

代議員の発言(要旨)

財政について質問 千葉県国公 山谷修さん

今年は財政調整基金からの繰り入れが 0 円だが大丈夫なのか。人件費がだいぶ低くなっているが運動に影響はないか。備品費が増えているがどういう理由か。予算編成をする際には 8 割執行を基本とするよう組んだほうがいい。

公約実現に向け奮闘 市川浦安労連 田中浩昭さん

市民と野党の共闘で村越ひろたみさんが市長になった。現在公約実現に向け頑張っているが、議会は自民党・公明党などが多数を占めている。市長選と同じような運動を続けないと、公約を実現させることはできない。これからも学習と運動を続け公約実現に向けて奮闘する。

自治体職員の労働実態 自治労連 實川 理さん

自治体職員の給与は民間の給与と比較し、人事院勧告で決まる。その差は地域手当の有無によって変動するので、地域格差が生まれている。

地方公務員法の改正により、非正規職員全員が会計年度任用職員になり、1 年しか雇用されないことが新たに法律に加えられる。正規職員を非正規化しないか注視していくことが必要だ。

組合の存在は重要 千葉土建 佐藤吉彦さん

建設アスベスト訴訟は、2015 年 5 月の横浜地裁の全面敗訴以来、全国の仲間が一体となり法廷内外でのたたかいを繰り広げ、各法廷で「国の責任を断罪する」判決を積み重ね、8 月 31 日の大阪高裁で 9 連続勝訴となった。たたかいの舞台は最高裁へ移り、今後益々の支援をお願いしたい。

悪徳ファンド許さない 全労連全国一般 えび原浩さん

昭和ゴムの資産約 30 億円と柏工場を奪った悪徳ファンド APF を許さないため、団体交渉を軸にたたかってきた。しかし相手は会社を分割し、全社員を移動させ「組合員がいない」こと理由に団交を拒否してきた。裁判闘争を繰り返し、現在は中央労働委員会の命令を待っている。柏の地で企業再建へ奮闘していく。

多くの職員は賃下げ 千葉県国公 金澤健太郎さん

8 月の人事院勧告で月例給は平均 655 円、一時金は 0・05 ヶ月分の引き上げとなった。5 年連続の引き上げをマスコミが報道しているが、実際には現給保障措置の廃止により多くの職員が賃下げとなっている。人事院勧告は、民間労働者の給与にも影響を与える。公務員賃金の引き上げ運動へ理解と協力をお願いしたい。

波 涛

先日宣伝をしていたら「たまには政府の言うことを疑うのではなく信用してやれ」と言われた。疑うことは悪いことなのだろうか考えた▼信用するということは大事であると思うが、現在の政府の言っていることを信用しているという人が、信用するという名のもとにおこなっていることは、物事を深く知ろうとする行為の放棄、言うならば無関心であるという風に思えてならない▼9 月 30 日投開票の沖縄知事選挙は、日本の未来を占う大事な選挙である。政府の言っていることを信じるにしても疑うにしても、物事を見極めるために沖縄だけではなく、日本全体でしっかりと関心を持っていきたい。



【2 面】

代議員の発言(要旨)

組織化に全力 J M I T U 酒井清さん

秋闘に向けた闘いが始まり、各地で未組織宣伝行動を実施している。成東では『残業代未払い』の相談が 7 名の未組織労働者から寄せられ、市川では「年 40 万賃金が下がった」と相談があった。双方とも組合結成に結びつけていきたい。

野党共闘方針について 市原労連 船井汎彦さん

「組合員の思想信条の自由、政党支持、政治活動の自由を保障する。政党とは、一致する要求・課題に基づいて協力し、共同行動を推進する」という文言を千葉労連の方針に明記してほしい。選挙に関わる野党共闘の方針を見なおしてほしい。

組合員総対話で奮闘 千葉土建 並木寛治さん

社会保険指導の強化から法人事業所の組合加入が広がり、組合員の約半数が会社を通じた加入者となり組織構成が変化してきた。組合との接点が希薄な事業所や従業員と結びつきを強めるため『組合員総対話』と称した対話活動を展開している。組合運動の継承に全力を注いでいく。

女性が輝ける産業へ 農業労連 谷川聡子さん

ジェンダー平等とともに女性の地位向上が社会的に叫ばれているが、農村部ではいまだに性的役割分担がある。家庭での介護を美德とする風潮や農地の相続の問題など、女性農業者が安心して農業を続けることが困難。女性が輝ける産業にしたい。

私学助成の拡充を 千葉私教連 小島光明さん

千葉県では、授業料減免制度はあるが、施設設備費は、全額保護者負担で年間一律 24 万 5 千円。埼玉、東京、神奈川では国の就学支援金制度を拡充し、保護者負担軽減を実施した。千葉県での負担軽減をめざす署名に協力をお願いしたい。

保育現場の拡充を 福祉保育労 松田天子さん

保育職場では休憩時間を確保しようと様々な工夫をしているが、あたり前のこともできない実態。10 年間働いても初任給 17 万 6 千円から 20 万 3 千円では、10 年勤めずに退職する職員が後を絶たない。職員が安心して働ける職場こそ、充実した保育を提供できる。『保育の充実をめざす署名』に協力をお願いしたい。

違法職場の是正の全力 J M I T U 二瓶崇さん

東部重工業労働組合では、団交拒否を続ける会社側に対して、3 月 20 日に県労働委員会の勝利命令を勝ちとることができた。しかし、会社側が中央労働委員会に再審査を申し立て、現在は調査継続中となっている。

また、労基署からは是正勧告がだされ、未払い残業代の一部支払いを勝ちとったが、引き続き 36 協定の締結に向けてがんばっていききたい。

地域運動のテコ入れを 野田地区労連 篠塚功さん

野田地域労連では、月 1 回程度、2 駅交互に駅頭宣伝を実施している。組合員の親睦をはかるためにバスハイクを企画し、秩父方面に行った。未加入の労組訪問もとくんだ。地域労連の活動のテコ入れのために活動資金の援助をお願いしたい。

粘り強く一時金闘争 医労連 三谷智恵さん

成田日赤では、夏季一時金への回答が「0・05 カ月削減」と提案された。支給日が間近に迫中だったが組合員にアンケート実施。結果、9 割が交渉継続を望んだため、支給日を過ぎても粘りよく交渉を重ね、夏季一時金を昨年実績まで押し返すことができた。

非正規の待遇改善を 船橋労連 中川真人さん

障害者施設さざんか会の職場で団体交渉でタイムカードや 36 協定の導入など、改善を勝ちとることができた。しかし、夜勤の連泊や賃金が適正に支払われていないなど、深刻な問題が山積しており、人手不足も喫緊の課題。職員が長く続けられる職場をめざし、さらに奮闘していく。

待遇格差是正へ 郵政ユニオン 宇田川朝史さん

郵政の職場では正規と非正規の条件格差が激しい。裁判闘争で様々な手当の支払い命令を勝ちとったが、郵政グループは正規社員の待遇を下げて、格差をなくそうとしている。私たちの望む解決方法は非正規の待遇を上げて、格差を改善することである。裁判闘争を支援する会に加入をお願いしたい。

教員未配置問題解消へ 全教千葉 中川晃さん

千葉県では教員未配置の教室が多数存在し、現在 127 人足りず、全国的に見ても異常だ。教頭や教務、音楽専科が兼務するなどしているが、解決をはかるためには、正規職員の増員が必要。県に教育に関する予算増額させるために署名に協力してほしい。

過酷の現場が改善 千葉土建 小山武さん

大成建設の現場で、パワハラ横行、休憩所の室温が 40 度を超えるなど非人道的な労働環境に建設職人が苦しんでいる。昨年 3 人の死亡事故が発生した現場だが、元請はまったく反省してない。抗議宣伝行動で冷房設置などの是正をさせたが、引き続き注視していく。

地域での共同広げる 松戸労連 嶋村新一さん

戦争法、共謀罪阻止に向けたとりくみで連帯が広がった『松戸地域総がかり実行委員会』で 3000 万署名にとりくんだ。

今年度は松戸市内を 9 地区に分けて訪問行動にも取り組んで 900 筆の署名を獲得。松戸地域で 10 万筆の署名を集めることを目標にこれからも奮闘する。

教員過重労働の対策 船橋労連 鈴木秀彰さん

教員未配置の教室問題解消のため、昨年船橋市では独自に予算を出し 5 人採用した。今年は 9 人に増やした。また人員不足の原因とも考えられる過重労働について、タイムカード導入や市独自のガイドラインを作成するよう要請している。

若者の組合離れ対策 青年部 小沢義憲さん

長年の青年招集の努力により関東甲信越の青年企画『JOYN e T』で、全体参加 72 名のうち 10 名が千葉労連から参加した。青年衰退については SNS の浸透における集まり離れが原因と考えられ、今後どうしたら人が集まるか考慮していく。

他団体との交流促進 女性部 川村さん

年 1 度のバスツアー継続、発展により他団体との交流を活発化し活動の幅を広げていく方針。規約改正をおこない、人員不足解消を試みるとともに女性部の次世代への橋渡しに尽力していきたい。

無期雇用ルール広める 労連ユニオン 中林正憲さん

労働組合の必要性を見直し今後どのようなフォローができるか検討中である。今年から 5 年以上勤続者に対する無期雇用転換ルールが適応された。今後は法を無視する経営者への指摘と労働者の健康に関する問題について対策を立てる予定である。

財政方針について 千葉県国公 千葉満さん

千葉労連の運動の強化には、行動を支える専従者の役割は重要である。しかし、財政議案では人件費が減少しており、運動が縮小してしまうことを危惧している。運動方針の実現に向けた専従体制をつくってほしい。